

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 高橋 謙輔 TEL 03 (3553) 8118
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	16,098	3.2	635	48.1	632	86.0	192	504.1
28年12月期第2四半期	15,598	4.4	429	△48.0	339	△59.8	31	△92.0

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 165百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △314百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	10.48	10.35
28年12月期第2四半期	1.74	1.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	14,658	4,071	26.1	208.04
28年12月期	15,518	3,989	24.2	204.01

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 3,829百万円 28年12月期 3,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	7.8	1,250	16.1	1,150	19.1	350	—	19.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	18,407,800株	28年12月期	18,374,200株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	－株	28年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	18,382,367株	28年12月期2Q	18,338,577株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調にあるものの、足踏み状態が続く個人消費に加え、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど、先行きが不透明な状況が続きました。外食業界におきましても、高止まりする原材料価格や物流費の上昇、人手不足に伴う人件費の上昇等、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、QSC向上を基盤とした各ブランドにおける「銀だこスタイル」を確立させながらの店舗展開、そして当社の主力である築地銀だこ事業に経営資源を集中させることを戦略の軸に据え、事業を推進してまいりました。

主力ブランドの「築地銀だこ」においては、今年3月に創業20周年を迎え、築地銀だこ20周年『ニッポンのタコヤキは、タノシイ。』をスローガンに、TVCMの放映や『大創業祭』のキャンペーン実施など、大規模な販促活動を展開し、既存店売上高を大きく押し上げる結果となりました。また、施設閉館に伴い「築地銀だこ」1号店（群馬県・アピタ笠懸店）が2月19日に閉店となりましたが、新たなフラッグシップとして『築地本店』を6月9日に築地にオープンいたしました。新商品開発においても、「贅沢ねぎだこシリーズ」「プレミアムシリーズ」において期間限定商品を発売し、客単価の向上に寄与いたしました。出店につきましては、収益性の高い銀だこハイボール酒場業態の出店を首都圏を中心に推進し、着席スタイルでお客様自身にたこ焼を焼いていただく新たな業態として「鉄板道場」の浅草橋店を6月19日に、綱島店を6月30日にオープンいたしました。当第2四半期連結累計期間においては、ハイボール酒場業態を計7店舗、出店いたしました。

「COLD STONE CREAMERY」においては、4月27日、ソフトクリームとワッフルを販売する新業態「コールドストーンエクスペス」を新宿アルタ1階正面にオープンし、話題となりました。また、期間限定のポップアップショップの展開やTV露出の機会が増えるなど、ブランディングの取り組みを積極的に行いました。

「The Coffee Bean & Tea Leaf」においては、新規出店を抑制する一方で、5月26日の日本上陸2周年を記念したキャンペーン実施や期間限定商品の発売などの販促活動の強化により、売上向上に取り組みました。また、グループ内の他ブランドへの業態変更など、グループ力を活かした収益性改善への取り組みを行っております。

キッシュ業態においては、前期よりスタートした新業態の焼き立てキッシュの店「La Quiche（ラ キッシュ）」、更にイートインメニューやドリンクメニューを豊富に揃えたカフェ業態の「cafe La Quiche（カフェ ラ キッシュ）」の出店を積極的に推進し、当第2四半期会計期間末において、キッシュ業態は13店舗となりました。「銀のあん」や「The Coffee Bean & Tea Leaf」からの業態変更による出店も含まれており、今後必要に応じてグループ内の業態変更を機動的に行い、グループ全体の収益性改善を図ってまいります。

海外事業につきましては、主として香港での多業態出店を加速させており、「キッシュヨロイツカ」海外第1号店が、4月27日、コーズウェイベイSOGOにオープンいたしました。コーズウェイベイSOGOでは、「BAKE」「クロワッサンたい焼」もリニューアルオープンし3店舗体制となり、当第2四半期末において、香港で当社グループが運営する店舗数は22店となりました。他地域では、台湾で5月12日に「銀だこハイボール酒場」林森店、タイで6月21日に「銀だこ」Central Festival East Ville店をオープンいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は16,098百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は635百万円（前年同期比48.1%増）、経常利益は632百万円（前年同期比86.0%増）、親会社に帰属する四半期純利益は192百万円（前年同期比504.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状況の分析

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して860百万円減少し14,658百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1,250百万円減少した一方、有形固定資産が278百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して942百万円減少し10,587百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が710百万円減少したこと等によることであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して81百万円増加し、4,071百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円を計上した一方、剰余金の配当91百万円及び繰延ヘッジ損益の減少30百万円等によるものであります。

キャッシュフロー状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高(以下「資金」という)は139百万円減少し1,123百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は1,501百万円(前年同四半期は1,185百万円の増加)であります。この増加は主に税金等調整前四半期純利益の計上394百万円、売上債権の減少1,256百万円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は1,203百万円(前年同四半期は1,378百万円の減少)であります。この減少は主に有形固定資産の取得による支出1,115百万円があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は415百万円(前年同四半期は707百万円の増加)であります。この減少は短期借入金の純増額395百万円があった一方、主に長期借入れの返済による支出710百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,329,003	1,181,698
受取手形及び売掛金	2,580,220	1,330,212
たな卸資産	1,693,833	1,989,462
その他	627,551	521,899
貸倒引当金	△18,236	△10,000
流動資産合計	6,212,372	5,013,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,593,520	4,842,179
その他(純額)	1,279,847	1,310,068
有形固定資産合計	5,873,367	6,152,248
無形固定資産		
のれん	421,809	361,168
その他	88,242	165,105
無形固定資産合計	510,052	526,273
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,266,656	2,248,094
その他	661,145	723,365
貸倒引当金	△4,820	△4,820
投資その他の資産合計	2,922,982	2,966,640
固定資産合計	9,306,401	9,645,162
資産合計	15,518,774	14,658,434
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,178,779	1,036,186
短期借入金	3,069,305	3,524,366
1年内返済予定の長期借入金	1,381,454	1,370,004
未払法人税等	281,641	273,415
賞与引当金	57,307	102,013
資産除去債務	46,540	22,018
その他	2,226,514	1,623,562
流動負債合計	8,241,543	7,951,567
固定負債		
長期借入金	2,194,579	1,484,354
資産除去債務	384,629	391,019
退職給付に係る負債	51,004	51,890
その他	657,552	708,422
固定負債合計	3,287,765	2,635,686
負債合計	11,529,308	10,587,253

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,671,519	1,675,719
資本剰余金	1,564,174	1,568,374
利益剰余金	545,312	646,129
株主資本合計	3,781,007	3,890,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,798	8,191
為替換算調整勘定	△23,747	△22,535
退職給付に係る調整累計額	△6,291	△5,720
繰延ヘッジ損益	△10,327	△40,675
その他の包括利益累計額合計	△32,569	△60,739
非支配株主持分	241,027	241,696
純資産合計	3,989,465	4,071,181
負債純資産合計	15,518,774	14,658,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	15,598,589	16,098,506
売上原価	6,208,565	6,250,155
売上総利益	9,390,024	9,848,351
販売費及び一般管理費	8,961,018	9,213,132
営業利益	429,006	635,218
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,197	1,346
為替差益	—	2,541
その他	7,734	19,756
営業外収益合計	8,931	23,644
営業外費用		
支払利息	17,283	17,536
為替差損	68,883	—
支払手数料	—	2,665
持分法による投資損失	1,313	4,443
その他	10,551	2,067
営業外費用合計	98,033	26,712
経常利益	339,905	632,150
特別利益		
固定資産売却益	—	464
特別利益合計	—	464
特別損失		
固定資産除却損	61,318	117,391
店舗整理損失	66,388	78,509
減損損失	43,927	41,106
その他	—	815
特別損失合計	171,634	237,823
税金等調整前四半期純利益	168,270	394,791
法人税、住民税及び事業税	169,698	182,431
法人税等調整額	22,023	18,502
法人税等合計	191,722	200,934
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,452	193,857
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△55,348	1,169
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,895	192,688

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,452	193,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,658	393
為替換算調整勘定	△55,021	711
退職給付に係る調整額	△1,929	571
繰延ヘッジ損益	△232,182	△30,347
その他の包括利益合計	△290,791	△28,671
四半期包括利益	△314,244	165,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,389	164,517
非支配株主に係る四半期包括利益	△78,855	668

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168,270	394,791
減価償却費	639,044	619,025
減損損失	43,927	41,106
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,000	△8,256
受取利息及び受取配当金	△1,197	△1,346
支払利息	17,283	17,536
売上債権の増減額(△は増加)	1,207,568	1,256,460
たな卸資産の増減額(△は増加)	△310,156	△291,379
仕入債務の増減額(△は減少)	△385,253	△157,589
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,982	44,706
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,646	1,709
為替差損益(△は益)	205,200	—
固定資産除売却損益(△は益)	61,318	116,926
未払金の増減額(△は減少)	△129,757	△322,032
未払費用の増減額(△は減少)	△41,373	△114,810
未払消費税等の増減額(△は減少)	△110,246	△9,184
その他の資産・負債の増減額	190,988	124,441
小計	1,580,246	1,712,105
利息及び配当金の受取額	1,197	1,346
利息の支払額	△17,283	△17,536
法人税等の支払額	△379,088	△194,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,185,071	1,501,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	66,040
有形固定資産の取得による支出	△1,301,306	△1,115,424
有形固定資産の売却による収入	—	9,654
無形固定資産の取得による支出	△1,511	△2,873
資産除去債務の履行による支出	△38,908	△43,113
貸付けによる支出	△49,930	△49,000
差入保証金の差入による支出	△166,228	△105,415
差入保証金の回収による収入	106,448	128,852
事業譲受による支出	△190,145	—
関係会社株式の取得による支出	△1,448	—
投資有価証券の取得による支出	—	△70,000
子会社株式の売却による収入	303,408	—
フランチャイズの加盟による支出	△8,691	—
その他	△30,289	△22,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,378,602	△1,203,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	717,496	395,012
長期借入れによる収入	721,680	—
長期借入金の返済による支出	△660,490	△710,920
長期未払金の返済による支出	△7,948	△8,231
リース債務の返済による支出	△9,591	△8,230
株式の発行による収入	3,850	8,400
非支配株主からの払込みによる収入	70,725	—
配当金の支払額	△128,335	△91,871
財務活動によるキャッシュ・フロー	707,386	△415,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,069	△21,566
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	477,786	△139,496
現金及び現金同等物の期首残高	813,260	1,262,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,291,047	1,123,465

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

前第2四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「持分法による投資損失」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた11,865千円は、「持分法による投資損失」1,313千円、「その他」10,551千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。